

名古屋市立大学病院

病院長名	松川 則之
〒467-8602 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1	
所在地	
地下鉄：桜山駅下車3番出口 直結	
交通案内	市バス：「市立大学病院」または「市立大学病院」下車

□ 病院の特徴

当院は800床の病床、32の診療科を有し、地域の中核医療機関として日々安全で開かれた医療を提供しています。がん診療拠点病院や救命救急センターの指定・認定を受け、高度急性期病院・特定機能病院としての役割を果たすよう努めると共に、教育研究機関として優れた医療人の育成に努めています。また、令和3年には東部・西部医療センター、令和5年にはみどり市民・みらい光生病院、令和7年にはリハビリテーション病院が名古屋市立大学の医学部附属病院になり、全国最大規模の大学病院群となりました。令和8年度には救急災害医療センターの開棟を予定しており、より一層進化を続けております。

□ 研修プログラムの特徴

名古屋市立大学放射線科専門研修プログラム

24の特色ある施設と、各領域専門の指導医総数70名以上を擁する、日本有数の規模の放射線科専門研修プログラムです。相対的に若手が多く、最新の知見に基づく親身な指導を受けられます。基幹施設や大規模連携施設では各種最新の高性能機器を用いた研修を受けられ、若手が多く結束が固いため地域の連携施設でも充実した研修を受けられます。規模が大きく若手が多いため、研究面でも国際学会発表数や論文数で目覚ましい成果を挙げています。

<研修モデル>

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
名古屋市立大学病院 放射線科	名古屋市立西部医療 センター 放射線診断科、治療 科、腫瘍治療科	名古屋第一赤十字病院 放射線科	名古屋第一赤十字病院 放射線科	名古屋市立大学病院 放射線科
				放射線診断・治療専門医研修修了予定

詳細は名古屋市立大学病院総合研修センターHPを参照
http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist_prg/dept.html



□ 主な連携施設

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター、同西部医療センター、同みどり市民病院、刈谷豊田総合病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、岡崎市民病院、津島市民病院、春日井市民病院、中京病院、名古屋医療センター、豊川市民病院、名古屋共立病院、東名古屋画像診断クリニック、一宮市立市民病院、成田記念病院など全24施設

□ メッセージ

放射線科 部長 樋渡 昭雄

若い力と最新の設備で世界を目指そう

最新の高性能機器を用いての最高レベルの研修を約束します。最新の設備を有し、若い先輩達が大勢いる優れた環境での充実した研修で、バラ色の将来を期待しましょう。研究面では臨床研究・基礎研究をともに行っており、国際学会への出席を奨励しています。全国あらゆる地域の先生方の研修を歓迎します。ぜひ見学に来て下さい。



□ 募集要項

※名古屋市立大学病院で勤務する場合

・採用予定人数	数十人 ※全領域あわせた人数であり、領域別の詳細の人数は各プログラム責任者と相談の上決定
・給与/月額	357,900円～436,200円 (勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる)
・当直回数/月	4回程度(診療科により異なる)
・当直料/回	24,000円～34,000円
・その他	年間有給休暇 20日間、通勤手当、超過勤務手当、共済組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり
・応募連絡先	担当者 管理課 医療人連携・育成支援係 専攻医募集担当 電話番号 052-858-7527 Eメール s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp